

藺浦健太郎外務副大臣による発言

2016年12月13日

- TPP協定は、自由、民主主義、法の支配といった普遍的価値を共有する国々の間で絆を強め、地域の平和と安定に貢献していく重要な外交的・戦略的意義を有している。
- 我が国としては、TPPの新規加入の輪を広げていくとともに、TPPの成果も踏まえながら、日EU・EPA、RCEP、日中韓FTA等の交渉にも精力的に取り組み、質の高い自由貿易のネットワーク拡大に積極的役割を果たしていく考えである。
- その意味でも、TPP協定の我が国による承認は大きな意義を有している。世界における自由貿易の進化・推進に向け、引き続き12カ国でしっかり連携していきたい。

(了)